

追跡レポート

上下水道の耐震化は



給水車の活用も、日頃の訓練が大切です

能登半島で地震による断水が続いている。本町も上下水道関連施設の耐震化は急務ではないか。

(令和6年3月議会の質問)

答 弁

財政面等での課題はあるが、管路更新時に耐震管への交換や、各施設の耐震化を図っていききたい。

どうなった

「システム」としての耐震化に取り組む

◆管路更新時に耐震管への交換を進めるほか、被害の影響が大きいと考えられる施設や基幹管路、災害時の重要な拠点となる病院や避難所の給排水ルートを優先的に耐震化するとともに、現在実施している水道基幹管路の複線化などによるバックアップ機能の確保等により、「上下水道システム」としての耐震化に取り組んでいきます。

◆また、利用者の皆様に、わかりやすく丁寧に耐震化の重要性についてご説明をし、おおむねの年次計画をお示しするなどして、地域住民の皆様と連携して「給水訓練」や「防災訓練」を実施するなど、耐震化が完了していない状況を補う施策を実施する必要があると考えています。

◆現在、改定を進めている「水道事業経営戦略」、来年度改定予定の「下水道事業経営戦略」を基に※アセットマネジメントを実践する過程において、安定した経営基盤を確立し、効果的かつ経済的に各施設を耐震性のあるものに換えていくことで、「上下水道システム」を健全な姿で次世代に引き継ぎながら、事業の持続性確保に努めていきたいと考えています。

※アセットマネジメント…中長期的な視点で、施設を効率的かつ効果的に管理運営すること

【上下水道課】

耐震化に合わせて老朽化も課題となっており、早急な改善が必要となる。町民への過度な負担とならぬよう、中長期的な安定した経営計画が求められる。